

令和3年度 第12回美郷町教育委員会議事録

日 時 令和4年3月25日(金)
13時50分～14時50分
場 所 役場本庁舎3F 会議室

<出席者> 阿川教育長、難波委員、大草委員、兒島委員、梅原委員
漆谷教育課長、吾郷課長補佐、滝野主任主事

<議 題> 1 新入学児童生徒学用品費の前年度支給に係る
準要保護仮認定について 【報告・認定】
2 ふるさと定住奨学金奨学生の決定について 【報告】

教育課長 それでは、少し早いですが、皆さんおそろいになりましたので、第12回美郷町教育委員会を始めさせていただきます。では、教育長からごあいさつをお願いいたします。

教育長 皆さんこんにちは。霜が降りるなどまだ寒い朝を迎えておりますが、日々1日と暖かくなりまして、桜のつぼみももうかなり膨らむところは膨らんでおります。楽しみでございますが、年度末を迎えて人事異動とか、いろいろバタバタしておりますが、今日はよろしく願いいたします。

それでは、本日、年度最後でございますが、会議録署名委員さんは、大草委員さんと難波委員さんお願いいたします。会期は今日一日でよろしいでしょうか。会議録の承認、第10回ちょっと間がありますけれど。

兒島委員 11回ですか、6ページの自分のコメントのところなんです、上から3番目のところ、ひとり親家庭の方がいいのかなと。

教育課長 わかりました。

大草委員 あとはよかったと思います。

教育長 よろしいですか。ではありがとうございました。それでは4番目諸報告の方でございます。

タブレットの方は教員不足の話を入れておりまして、最初に教職員の人事異動。A4の横のとA3の折り込みにあるのは、令和4年度の新しい名簿になりま

す。比較的いい人事はできたと思うんですが、一番やっかいなのは、講師さんが足りないのが非常に痛いところでして、1ヶ月前まで小中学校で150人ぐらい不足しておりました。それでも100人ぐらい足りません。

本町も配置されていないのが、邑智中学校1名、大和中はそうは言っても、1人足りなくても何とか授業の方はできるというところでございます。

それから大和小でございます。大和小は相変わらず2人、最後の非常勤を当たっているんですけども、今もう県外が頼りな感じですね。県外で島根県へ帰ってきてもいいなという最後のところです。

本町に限らず大田市なんかも、未配置のままスタートするそうですが。邑智小中のところは幸いに。SSS（スクール・サポート・スタッフ）さんなんか見つかっておりませんが、これはコロナ対応といったところでございますので、何とかこれまで通りの人数でスタートできます。

続いて県の学力調査をつけております。美郷町だけではありませんが、人数が少なくございますので、平均点そのままその学校の力ということはちょっと無理があります。それと数字上で比較をすると、ピンクは越えているんですけども、ブルーのところは低い値を示しています。カラーの表の全国と比較をしてみますと、ピンクがある大和中の1年生とか。邑智中の2年生の数学とかですね。そういうある程度、全国の力があるところもあるんです。

2番目の県の比較、中学校は比較的いいところです。ですから、小学校の地道な基本が、中学校でぐっと伸びる力を持っているといってもいいのかなあと分析しております。しかし、今回低かったのもありまして、ちょっと細かなところまでは分析はしていません。

島根県の学力調査ですけど、これ1、2月ぐらいにあるんですけど、春の全国の学力調査の分は、去年からも伸びが見えていい結果だったんです。しかし、やっぱりコロナの影響もあったり、家庭学習の時間が1時間以内というような、いろんな影響もあると思っています。家庭学習というところは特に来年、強力にいろいろ工夫しながらですね、いかなきゃいけないかなと思っています。

あと細かな点は、図形認識っていうのはここ最近の子供たちは苦手ですね、図形認識。私は経験がないからだと思うんですよ。奥行きとか立体、画面上でしかそういう経験がない。もう一つは書くこと。これですね、これはまだまだ課題で、伸びているところもあるんですけど、苦手とするというところがございます。あと細かいところは目を通してください。

免許更新制度もなくなりますし、免許更新をしていない人も臨時免許がもらえますので、切れてるとか云々じゃなくて免許を持っておれば、誰でも今はもう教員ができるっていうか、それほど現場は免許を持った人が欲しいという状況でございます。PRの動画が流れたり、看板を設置されたり、面接だけで採用す

るとか、いろんな手を尽くしておられますが、ちょっと遅かったかなっていう気がします。これが数年響くかなあという気がしております。

私の方は以上でございますので議事の方に入らせていただきます。2つございまして、まず第1号議案「新入学児童生徒学用品費の前年度支給に係る準要保護仮認定」について。

滝野主任主事 それでは、新入学児童生徒学用品費、前年度支給について報告させていただきます。申請があったのは小学校4名中学校5名です。審査した結果ですが、表のピンク色のところが認定基準に該当しているところです。新規の方ですが小学校の2番Aさん、3番Bさん、4番Cさんです。あとの方は現在認定を受けている方や兄弟関係がある方です。不認定の方はいません。

支給額についてですが、令和3年度の国の基準額に準じて支給をしました。小学校が1人当たり51,060円、中学校は6万円です。支給日は令和4年3月18日です。以上で報告を終わらせていただきます。

教育長 では認定につきまして、ちょっと見ていただいて。

大草委員 仮認定とは？

滝野主任主事 4年度に入って入学されてから改めて申請をしていただくようになります。申請を出していただいて、6月に審査、認定という形になります。

教育長 仮認定についてご了承いただけますでしょうか。ありがとうございます。仮認定ということで、では第2号議案ふるさと定住奨学金奨学生の決定について。

教育課長 それでは私から説明させていただきます。ふるさと定住奨学金について、令和4年度奨学生を募集いたしまして、4名の申し込みがございました。

12日に選考会を行いました。選考委員は大草委員さんはじめ、5名の方にお願いをいたしました。選考の結果、申し込まれた4名の方全員の合格が決定をされております。そこにあります資料の通りです。以上です。

教育長 はい。

大草委員 皆さんしっかりされとったんですよ。今回は良かったなという感じでした。ただ、今の子は物を書かないせいですか、字が汚い。

兒島委員 人のことは言えないですが、まあ書くことは少ないですね。

大草委員 字がきれいな子は今度は漢字が。国語の基礎力が全然。1ヶ所だけかなと思ったら2ヶ所間違っているから、この子こういうふうにもう覚えてるんだなあと思って。やっぱり基本がなっとらん。考えとかはみんなちゃんとしっかり持っているんだけど。やっぱりその辺もね、大学や社会人とかなればね。確かに今パソコンを使うけれど、社会人とか、大人になるに従ってやっぱりそういうのは身につけたほうがいいかなと感じました。

難波委員 なんですか、書き順がもうでたらめです。習字をやっていますが記号として覚えている。

教育長 絵とか図でね。

難波委員 びっくりして。「先生がこれでいい」って言ったと。いや絶対そうじゃないとは思うんだけど。あれにはちょっとびっくりしました。

教育長 今デジタルで書き順なんかも指でなぞえる。もう先生たちは言わないですね。あんまりいちいち書き順のことを。国にもというか。そう昔みたいに指導しなくてもいい。教師を目指していくと、多分2人。

教育課長 ふるさと定住奨学金は、今の制度では最後の募集ということで。制度を見直しまして、このままの制度でいいのかどうかというのを検討いたします。まず基金が尽きるというところが大きくて、今回はあえて高校生は対象にしませんでした。大学以上に行かれる方を対象として募集しましたので、4名になりました。

梅原委員 人数の制限はあるんですか？

教育課長 そこが問題です。落とす理由っていうところが難しいです。高校生は、その子が本当に定住するかどうかというところを見るのに余りに期間が長すぎて、ずっとその子の動向を追っていきなさいいけない。管理の問題もあります。そして、お金が尽きるということがあります。この制度の成果がまだ見えない段階ですけども、やり方を見直すというところで、今の制度では今回が最後ということですよ。

梅原委員 なるほど。

大草委員 何年になりますか。

教育課長 平成29年からですので、5年です。

大草委員 ですから、ぼつぼつ成果があらわれないと。本当に定住しているかどうかね。定住をどう位置付けるか。ただここへ住所がある、そんなふうになってきますよね。難しいと思います。あとは返す返さない、返すにしても結構な金額になりますよね。今みたいに、コロナ禍で、返す段階になったところで返せるかどうか。

教育課長 はい、そうです。

教育長 報告がございました。ありがとうございました。では、その他報告事項3件ございますが、課長さんお願いいたします。

教育課長 報告事項3件準備いたしております。まず1点目は令和4年度の教育課予算についてです。これは議会に提出いたしました資料をつけております。そちらをご覧ください。まず、この予算の概要というところで言いますと、長期総合計画の推進に関係したものを、これを数字にしておりますので、教育の関係で言いますと、3番目の「教育 美郷町を担う心豊かな人づくり」というところ、この枠の中が主な教育予算になっております。事業費ということです。204,474,000円。それから、次のページの6番目の「未来創造 美郷町の活力ある未来を担っていくための戦略」、ここの中のバリ島との交流、石見の歴史伝統の振興、この中の一部にも教育課の関連の予算は含まれております。

2番目の令和4年度予算というのが事業費ごとに歳入を上げてあるものです。手数料等が入って参りますので、公民館の使用料であったりとか、或いは交付金関係がここに収入でまとめてあるものです。文字が小さいですので、また拡大してゆっくりご覧ください。

③の令和4年度予算というところを開いていただきますと、議会の予算委員会に提出をいたしました主要施策に係る説明書を載せております。例年と大きな違いがございません。もうすでに何年もやっております事業ですので、そこはまたゆっくりご覧ください。

155ページをご覧ください。今年度から取り組んでおります事業で「みさと一

く)、これをまた来年度も続けていこうということで、3月20日に「つながるみさと」ということで、社会教育の取り組みの発表をさせていただきました。「みさと一く」の取り組みで、子供たちの心情の変容がどれぐらいあったかということ、藤住社会教育主事から説明をさせていただきました。一時的な、その場での効果かもしれませんが、良かったということが子供たちからも、先生方からもありました。4年度もしっかり広げていくことと、私たち自身もこの「みさと一く」の手法を学んで、自分たちで運営できるような形に持っていきたいと思っております。

大草委員　　これが町内というか、繋がっていったらいいですね。この間はちょっと限られた形でしたね。みんなまで行ってないんですよね、案内は。

教育課長　　委員さん方や連合自治会長さんへの案内はしました。一般には放送での呼びかけで。会場に来てくださる方っていうのは、関心を持ってくださる方ですね。

あの日はですね、一部が社会教育の取り組み発表で、二部がバリ舞踊とガムランでした。ある意味全然層が違います。ガムランを見に来た人が一部の社会教育を見てくださる、社会教育にこられた方が二部のガムランも見てくださるっていう、一応相乗りの効果を期待して、あえて一緒にやらせていただきました。

梅原委員　　テレビ放送するっていうから、僕はみさと一くの方がテレビに出ると思ったんですよ。逆にそれが全然出ていない。

兒島委員　　そうですね。

大草委員　　私の友達、一緒に。映っていましたよ。行ってみるって言ったら行ってみたと言われるから、やっぱり一般の方も行きたいんだなと思いました。

兒島委員　　どっちかというとなりの方がPRになる。でもすごく良かったと思います。ああいう成果報告会というか、どんどんしていくべきだなと思います。

大草委員　　知らないですからね。

兒島委員　　みさと一くをこうやって聞いて、何となくわかっているでもその子供たちの実際の変化とか、ああいう細かく教えてもらったりするとよくわかります。

大草委員 何しているかとかね。

兒島委員 すごくよかった、こんなことやっていたんだと。

教育課長 ありがとうございます。

難波委員 予算は要望通りですか。

教育課長 はい、要望通りです。

大草委員 これはすごいですね。放課後子供プランの予算。

教育課長 これはですね、157 ページですね。放課後子供プランの方は、放課後児童クラブの経費が、みんなここに入っています。主にスタッフさんの賃金です。それとこの中で、金額が令和3年と4年でかなり違いますのは、吾郷公民館を放課後児童クラブの居室として改修します。

以前は別棟の建物を建てる予定だったんですが、吾郷公民館の中の1階の一番いい部屋を、実は倉庫に使っておられまして、今回は地域を挙げて公民館の施設整備を考えようということで、吾郷の連合自治会でお話をされて、築瀬集落があそこから物を出されるということになりました。別に倉庫を買われて、そこに中のものをみんなに移されて、開けられるということになりました。建物の中にトイレも作るようにしました。

大草委員 なるほど、だから2,800万も。

教育課長 それは補助がもらえるんですが、公民館単独で改修っていうのの補助枠なんかないんですよ。公民館を改修しようと思うと、防災の関係の補助金を取ってくるか、それ以外のところで何か。今吾郷の児童クラブは町内の児童クラブの中で一番環境的にも質的にも評判がいいです。

もし児童クラブの数を少なくしていくのであれば、吾郷は最後まで残すクラブに。子供の活動にはうってつけの場所です。

そういった理由で、ここは予算がかなり大幅にアップしております。

大草委員 あとはあまり変わらないですね。

難波委員 あとは信喜の国体に向けての予算が上がっています。

教育課長 159 ページなのですが、美郷町の文化財の保存活用地域計画の策定ということで、文化財の保存活用計画の町の大枠のものができ上がっておりますが、今度は各地域におろした形の計画を策定する必要があります。その経費について国の補助をもらいます。

それから先ほど言われました 161 ページ、最後のページですが、スポーツの推進というところで、ここはカヌー会場の整備に令和 4 年度から着手をいたします。まず常設の艇庫を建設する場所の土地の整備から入っていきませんが、まだ今その用地交渉からスタートする段階です。

梅原委員 これは中電の土地ですか？民間ですか？

教育課長 今計画しているのは、民間の方です。中電が持っているところは、浸水域なので。

艇庫にするには、水が来ないところで、水際への便利のいいところということを考えますと、2 本イチョウの木が植えてあるところがありますが、あのあたりを艇庫というふうに考えています。地元の方にもお話をしながらですが、詰めていくのは今からです。

国スポの補助に関しましては、令和 5 年度からしか補助金はつかないことになって、令和 4 年度の事業に関しては、単独になってしまいます。それもかなりの金額ですので、過疎債を使う形になっていますが、何とか県から補助を取れないかと、町長から指令がありまして。大変な難題をいただいております。

難波委員 4 年度から出ればいいのに。

教育課長 今うちが早く着手しないといけないのは、7 年度のインターハイがあるというのがあって。普通どおりの国スポであれば 5 年度からでいいのだと思います。インターハイに関して言いますと、運営費は補助がありますが、施設整備には補助は全くないんです。そのあたりの事情というのは当然県もよくご存知のはずです。県としては、まだ会場が決まってないところもある中で、自ら手を挙げて、うちでやりますと言って、ここまで一生懸命やっているのですから、そこのところを何とかという状況でございます。以上です。

大草委員 わかりました。

教育長 では議会の一般質問についてお願いします。

教育課長 次の議会の一般質問の資料をご覧ください。

今回メインとなります一般質問は西原議員さんの方からで、2問とも教育委員会へ。それも教育長に直球勝負で、なんとでも教育長の声が聞きたいという思いで。

1問目につきましては、児童生徒の学力向上に向けてということで、全国学力学習状況調査の結果はどうだったかというお話でした。その次のところに答弁書載せております。やっぱり全国的に島根県全体と同じような傾向があり、それに対する対策ということで、授業の質の充実、家庭学習の充実、それから探求的な学びの充実というところに取り組んでいきますと。学校家庭地域の連携というところで、子供たちの学びを支えますという答弁でございました。それについては、教育長さん、課題とか宿題というようなことは。

教育長 宿題ですね。大きな転換期を迎えるかもしれません。今年はどうか今年度は。みんなタブレット1台ずつありますし、高校も1年生は個人購入っていうか、これは小1から高3まではもうタブレットをみんな持っているっていう状況ですので、ここはもう家庭学習をどうするか。もう授業の質は非常にいいので、家庭学習がどんどんどんどん勉強しなくなって、そこどうやっていくか大きな勝負の1年なりそうです。

4月、今年度は町教研の総会をやるっていっていますけども、学校、先生方にもちょっとこれは強調して言わないといけない。みんなで頑張ろうという感じですね。

教育課長 2番目の質問は教員の労働環境についてということで、西原議員の方からは教員の時間外勤務についてどのような把握の仕方をしてるのか、状況を聞かせて欲しいということと、教職員の給与の教職調整額についての質問でございました。

教職員の時間外につきましては、平成29年からタイムカードを導入しておりますので、在校時間しか把握できませんけれども、毎月の報告で上がって参りまして、私たちもそれ見ながら、ちょっとこれは多いよねっていうのはマーカーをつけたりしております。

時期的なものもありますけれども、年間を通じて、常にこの先生がついていうのもあります。本人の中で研究熱心でどうしてもここまでやらないと帰れないというパターンがあります。

それから、中学校に関して言うとやっぱり部活動に時間がとられていると

ということがあります。そういったところの実態を説明させていただきました。教員の働き方改革に関しては、うちだけの問題ではなくて本当に全国的な問題ですし、目標にはちょっと及ばないんですけど、比較的改善は見られている。さらにここからメンタルヘルスとか、部活動の地域移行に今取り組んでいるところですし、ICTを使うことで教材準備の時間が短縮されたり、あとはまだ他の市町と一緒に検討しているんですけども、校務支援システムとかそういったものが入るとまた事務処理がより楽になると。そういったところの説明をさせていただいております。

難波委員 残業というか時間外をされている先生はあなたが優秀だからこれもこれも、というようなものもあるんですかね。1人の先生にちょっと集中して担当を持たせているとか。

教育課長 研究指定とか受けていると、そうなりがちなところはあると思います。やっぱり主になっておられる先生にはそういうところがあるかなと思いますが、比較的そこまでひどくはないですかね。〇〇先生はどんなときでもなんか一定の時間数以上やっておられるので。部活動ですかね。それと生徒支援を持っておられるので、そことの兼ね合いですね。

兒島委員 その仕事の量を均等にとというか、管理者がみていくんだらうなど。その時間ありきで、1日10時間勤務じゃないですけども。なんかそういうのと考えておられるのはまた違うのかなと、なかなか難しいんだらうなと思うんです。

難波委員 世代ってというか、昭和と平成の違いはあると思うんですけど。

教育長 くせになっている人がいます。

難波委員 それは役場の職員も同じです。

兒島委員 うちなんかも、早く帰るようにと話をしたり、8時間で終わらせるようにというのが当たり前だよという話は、ずっとしていくんですけど。

大草委員 そうですよ、民間なんかだったら残業したら残業代出さんといけんから。でもやっぱり8時間でっていうようにしていかないといけないですよ。

教育長 ICTのおかげでですね、昔はボードに張り出して、磁石やテープで。あれ

がこのタブレットの中に入っている。本当に楽になりましたね。でも、ああでもないって言って切りながら、みんなで助け合ったりしながら、雑談する中にも良さはあったんですけど。でも、もうそういうことを言わない。効率よくやる。

児島委員 本当そうですね、効率よくしていかないと。

教育長 効率よくしていかないと変わらないので。コロナのこともございますけど、今を極力キープしながらいくというのは必要かなと時間的に。これも大きな課題でございます。人気がなくなったのは何かねえ。やっぱりみんながブラックブラックって言わなければいいのに。

児島委員 また今の時期新聞とかでも上げられますので、教員不足と。

教育長 教員はブラックと思ってないんですよ、周りがブラックと思っている。

児島委員 イメージがひとり歩きしますよね。

教育長 英語が増えて、ICTやプログラミングだのいろんなことが入ってきて、今50代っていうのは非常に多いんですけども、今度は介護とかいろんな関心があるようで、辞職される人が増えているっていうのも事実みたいですよ。魅力を発信する。美郷からも魅力を発信したいと思っております。

教育課長 次に原議員さんの方の1番目で、中学生からの提案についてということで、邑智中学校で行われたふるさと学習の発表会の中で、すごく感銘を受けたということです。そこで出てきた子供たちの提案というのを、何か町政に反映できないのだろうかという意味もあって、この質問をされました。

ただ、実はこの中に出てきているふるさと年金、一時金制度っていうのをどう説明されたのか、そこに関わった者に聞いたんですけど、よくわかりませんでした。具体的にどういう提案が子供たちからされたかの裏を取ることができなかつたんです。ですので、そこに対してのストレートな回答を、あえてしませんでした。

以前は中学生議会をしておりましたけども、コロナの関係でやらなくなって。実際中学生議会をやるとですね、かなり学校が消耗します。それに時間を割いてしまうので、準備をするのが結構大変です。また子供たちからの質問に対しての答弁書をこちら側で作ってというのも大変な作業なんです。学校も

教育委員会も中学生議会っていうスタイルがすごくいいとはちょっと思っていないところがあります。答弁書の中にも、中学生議会という形にとらわれず、子供たちの意見を取り上げる場、そういう機会はぜひ作っていきたくないと回答しています。

昨年、議員さんと中学生とで話をする機会を大和中学校で設けたいという話がありまして、議会の方に声かけさせていただいて、議員さんと中学生とでディスカッションしました。そういう機会ももちろんいいと思います。一つの形にとらわれずに、いろんなところに子供たちの顔が見えて、活動が見えて大人とディスカッションできるっていう場を、私たちも作っていかないといけないと話しています。

最終的に原議員さんからの宿題といたしますか、やっぱりふるさと年金に関しての回答もらっていないので、それはどうかっていうご質問があつて、町長の方から、何かしら美郷町で生まれてずっと美郷町に住んでくれたっていう人に関しての、感謝の意か何かあらわせる機会を検討しようということになっておられます。

梅原委員 今年度は2年生と3年生が地域に出向いてくれて、いろいろやりました。議会とか定番でやったって、やっぱり実現性がないからね。それより今年度のような授業の方が良かったと個人的に思っていますよね。

兒島委員 良かったと思いますよ。地元も良かったんじゃないかなと思います。子供たちが見えるから。

難波委員 あんまりこう、形式化するよりは。

兒島委員 確かにパフォーマンスとしては中学生議会とかテレビで出て。でも本当、子供たちも自分の地域とかがわかったりするし。

難波委員 小学校まではそういうのをやるけれど、中学校に入ってからふつつりなくなります。

梅原委員 浜原なんかでも、浜原ダムに初めて来ましたとかいいですねとか。

兒島委員 そこで出たことをつないでいくとか。拾っていけばいいかもしれないですよ。

教育長 ありがとうございました。では最後は人事異動を。

教育課長 教育委員会の方は、学校教育の滝野主任主事が、総務課へ異動することになりました。代わりに住民課から熊谷麻美さんが上がって参ります。それと、今日教員の人事異動の方ご覧をいただきますと、新聞発表されたものをご覧いただいたかと思いますが、渡邊指導主事が久手小学校の教頭先生ということで異動になりまして。滝野と渡邊指導主事と、主に特別支援教育の方を持っておりましたので、特別支援担当がいなくなるのがちょっと痛いところですが、しっかり引き継ぎを後の者にしてもらって、漏れのないようにしていきたいと思います。

教育長 次回の会議ですが、4月13日水曜日1時30分。これは第1回になりますね。よろしく願いをいたします。そうしますと、本日今年度最後の委員会は、以上で終わりにしたいと思います。ありがとうございました。